

新潟県の金融経済動向

【基調判断】

県内景気は、新型コロナウイルスの影響から引き続き厳しい状態にあり、持ち直しの動きは鈍化している。

輸出は、回復を続けているものの、一部で弱い動きが続いている。設備投資は持ち直しの動きがみられる。個人消費は持ち直しの動きが一服している。公共投資は減少している。住宅投資は下げ止まっている。

生産は、回復を続けているものの、一部で弱い動きが続いている。企業収益は改善の動きがみられる。企業の業況感は悪化した。この間、雇用・所得環境は、労働需給に改善の動きがみられるものの、全体としては弱めの状態が続いている。

【前回からの変更項目】

	今回（4月1日公表）	前回（3月2日公表）
全 体	新型コロナウイルスの影響から引き続き厳しい状態にあり、持ち直しの動きは鈍化している。	新型コロナウイルスの影響から引き続き厳しい状態にあるが、持ち直しの動きがみられる。
輸 出	回復を続けているものの、一部で弱い動きが続いている。	一部で弱い動きとなっているものの、回復を続けている。
生 産	回復を続けているものの、一部で弱い動きが続いている。	一部で弱い動きとなっているものの、回復を続けている。

本件に関するお問い合わせは下記までお願いします。

951-8622 新潟市中央区寄居町 344 番地

TEL : 025-222-3103 FAX : 025-227-1136

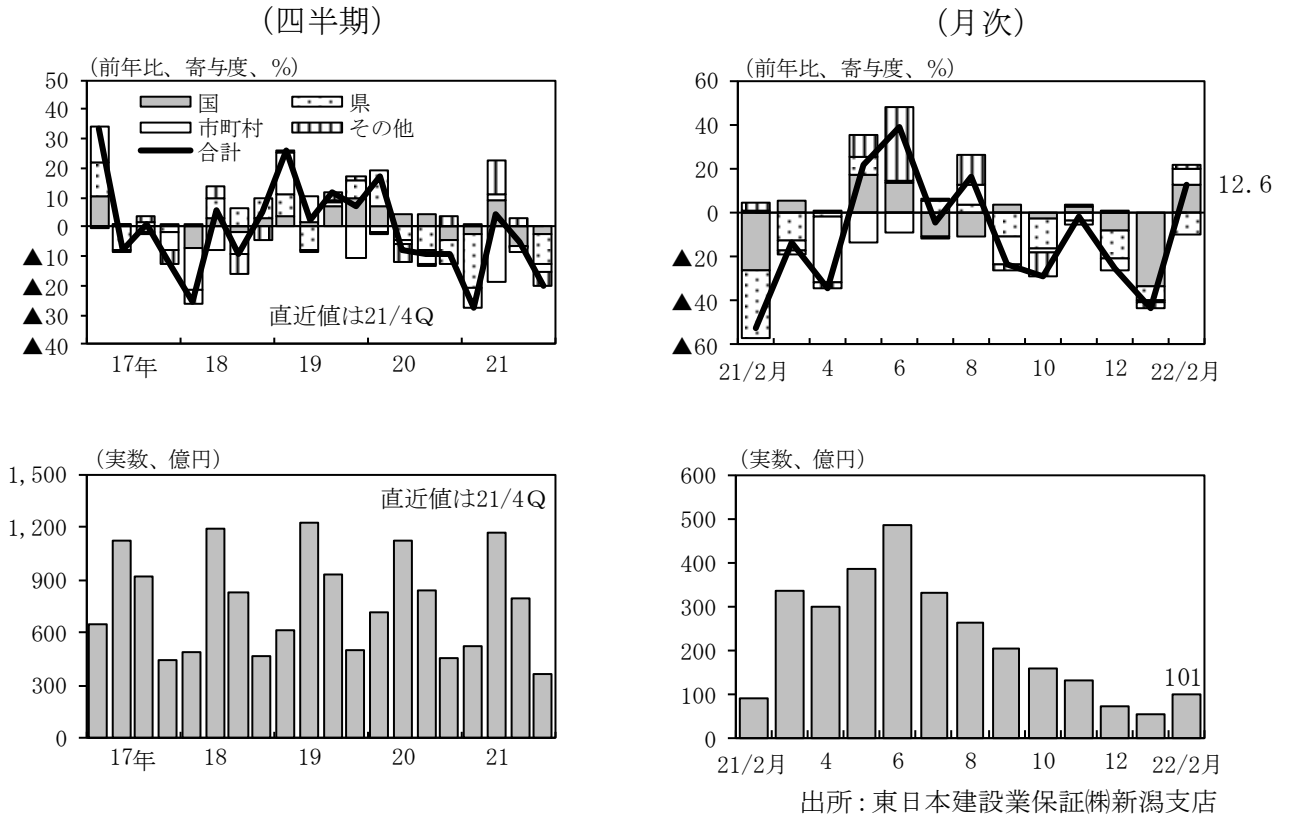
ホームページアドレス : <https://www3.boj.or.jp/niigata/>

1. 実体経済

公共投資は減少している。

2022年2月の県内の公共工事請負金額は、国や市町村などでの発注増加により、前年を上回った。

[公共工事請負金額] (前年比・実数)

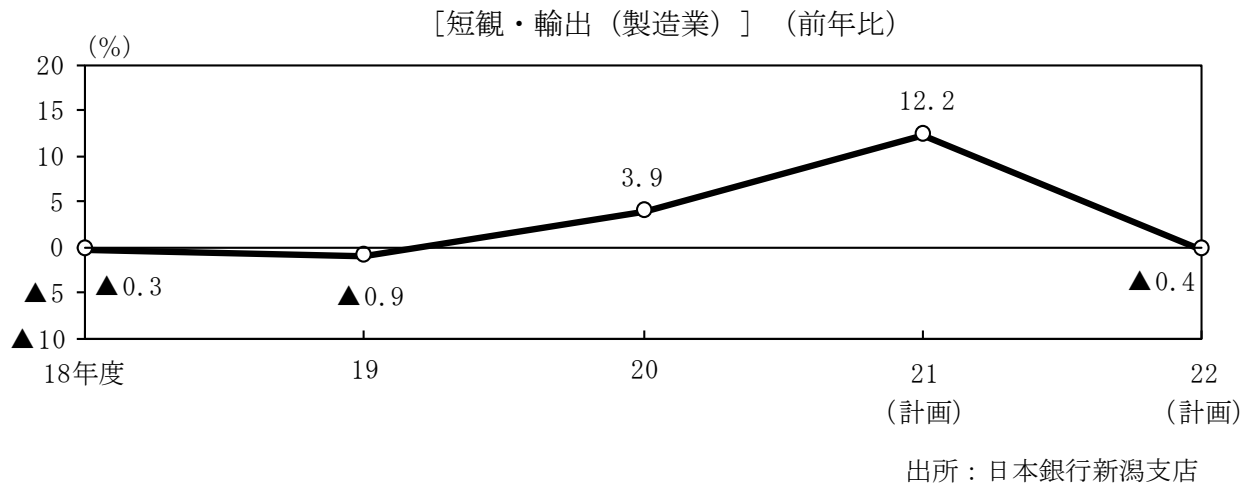


輸出は、回復を続けているものの、一部で弱い動きが続いている。

最近の動向を業種別にみると、電気機械、化学は増加している。一般機械は回復している。金属製品（作業工具）は持ち直している。輸送用機械は弱い動きとなっている。

2022年3月短観（製造業）では、2021年度は前年を上回る見込みである。

2022年度は前年を下回る計画である。

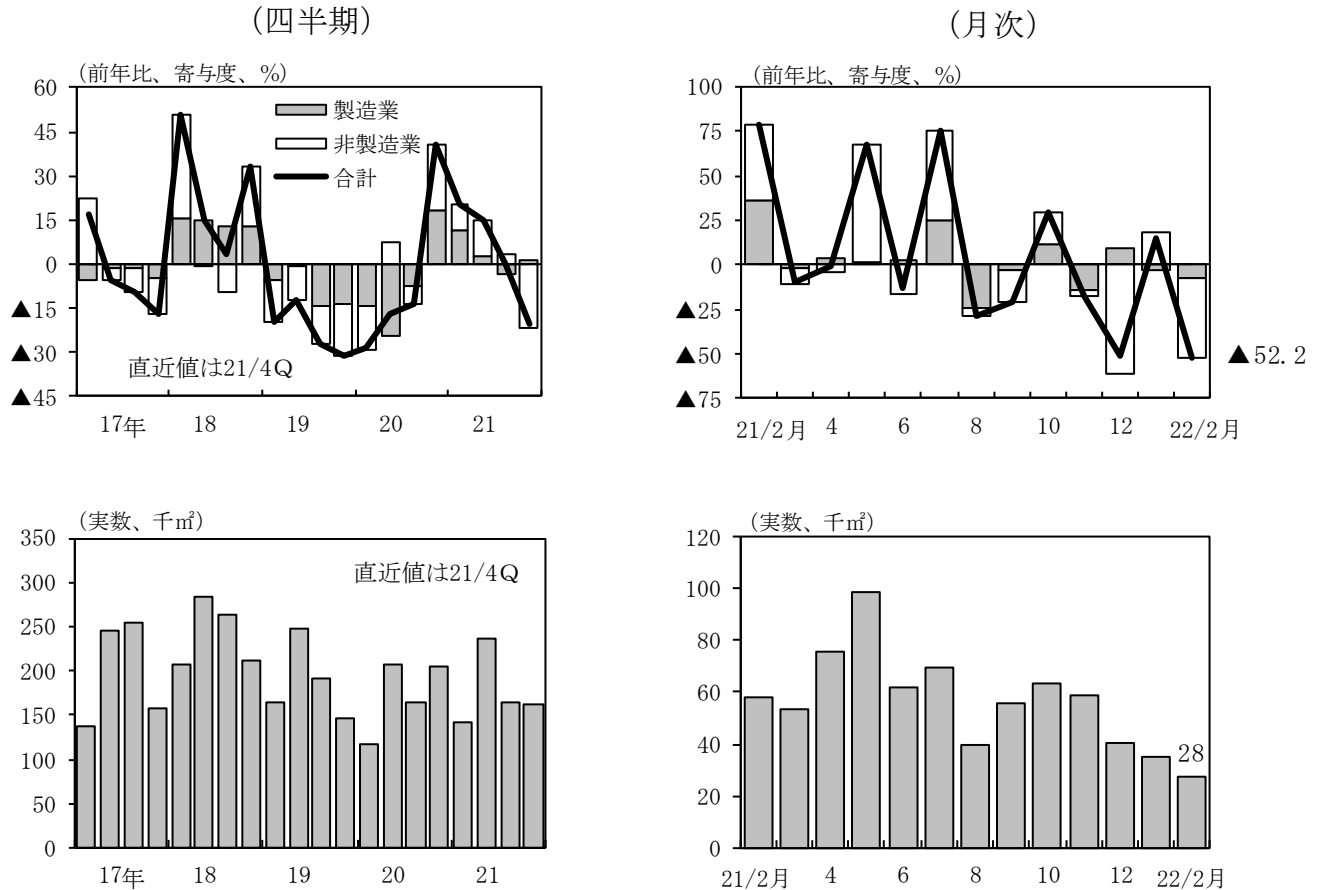


設備投資は持ち直しの動きがみられる。

2022年2月の県内の建築着工床面積（非居住用）は、前年を下回った。

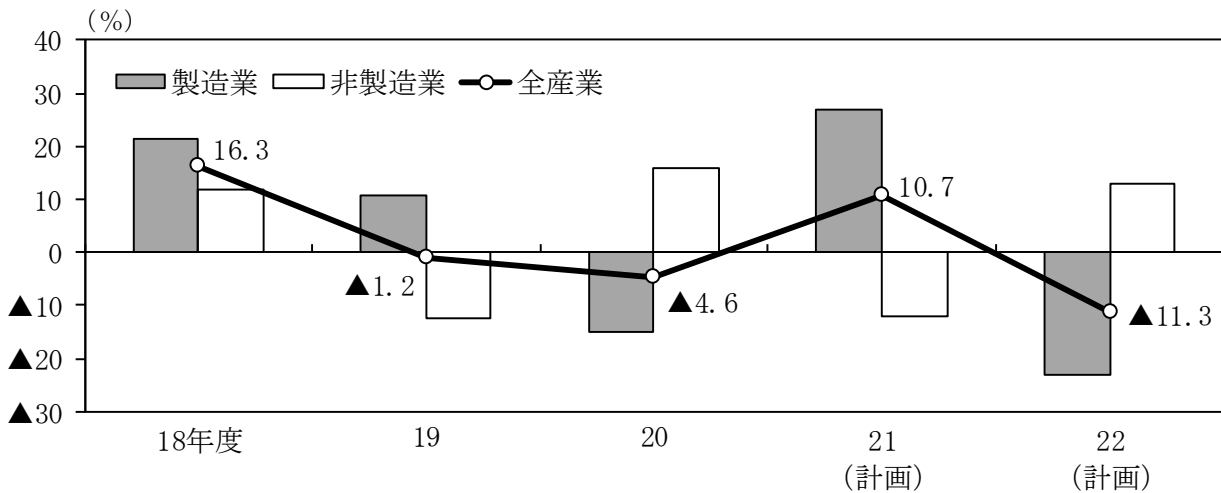
2022年3月短観では、2021年度は前年を上回る見込みである。2022年度は前年を下回る計画である。

[建築着工床面積（非居住用）]（前年比・実数）



出所：国土交通省

[短観・設備投資]（前年比）



出所：日本銀行新潟支店

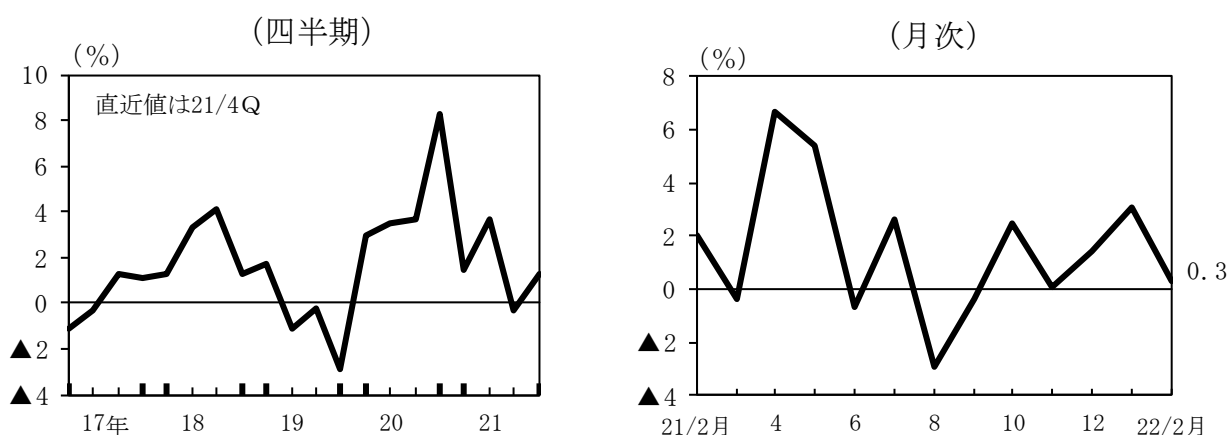
個人消費は持ち直しの動きが一服している。

2022年2月の百貨店・スーパー販売額は、前年を上回った。もともと、衣料品は弱めの動きとなったほか、食料品は頭打ちとなっている。

2022年2月の乗用車の新車登録・届出台数は、前年を下回った。家電販売額は弱めの動きとなっている。

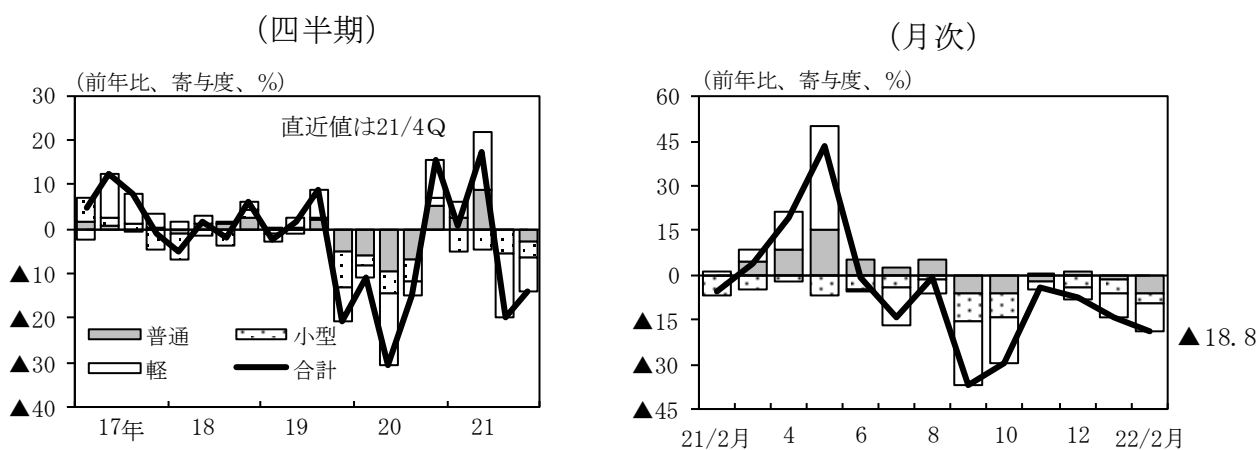
旅行取扱高は低調となっている。

[百貨店・スーパー販売額] (前年比)



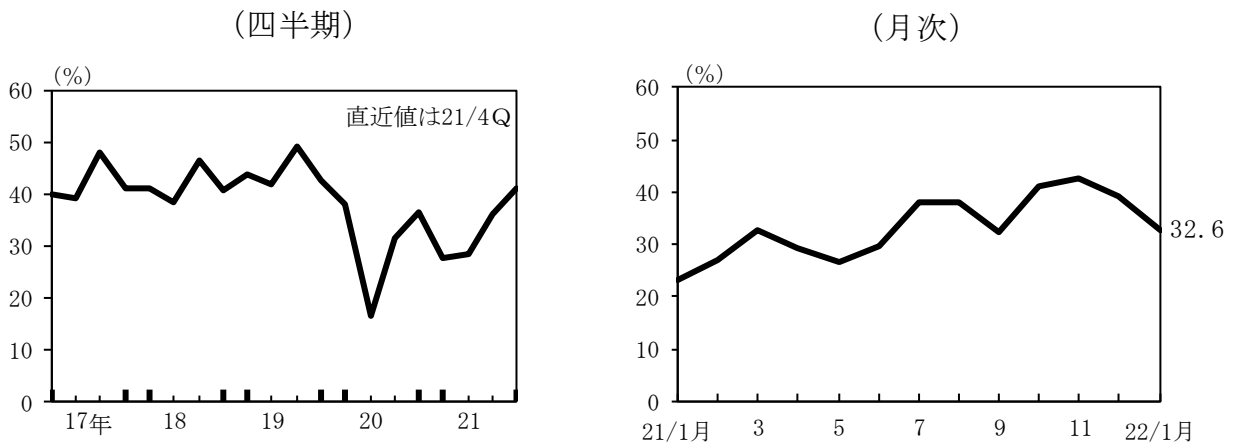
出所：経済産業省

[乗用車新車登録・届出台数] (前年比)



出所：新潟運輸支局

[客室稼働率]



出所：観光庁

[参考：小売・娯楽の人出] (増減率)

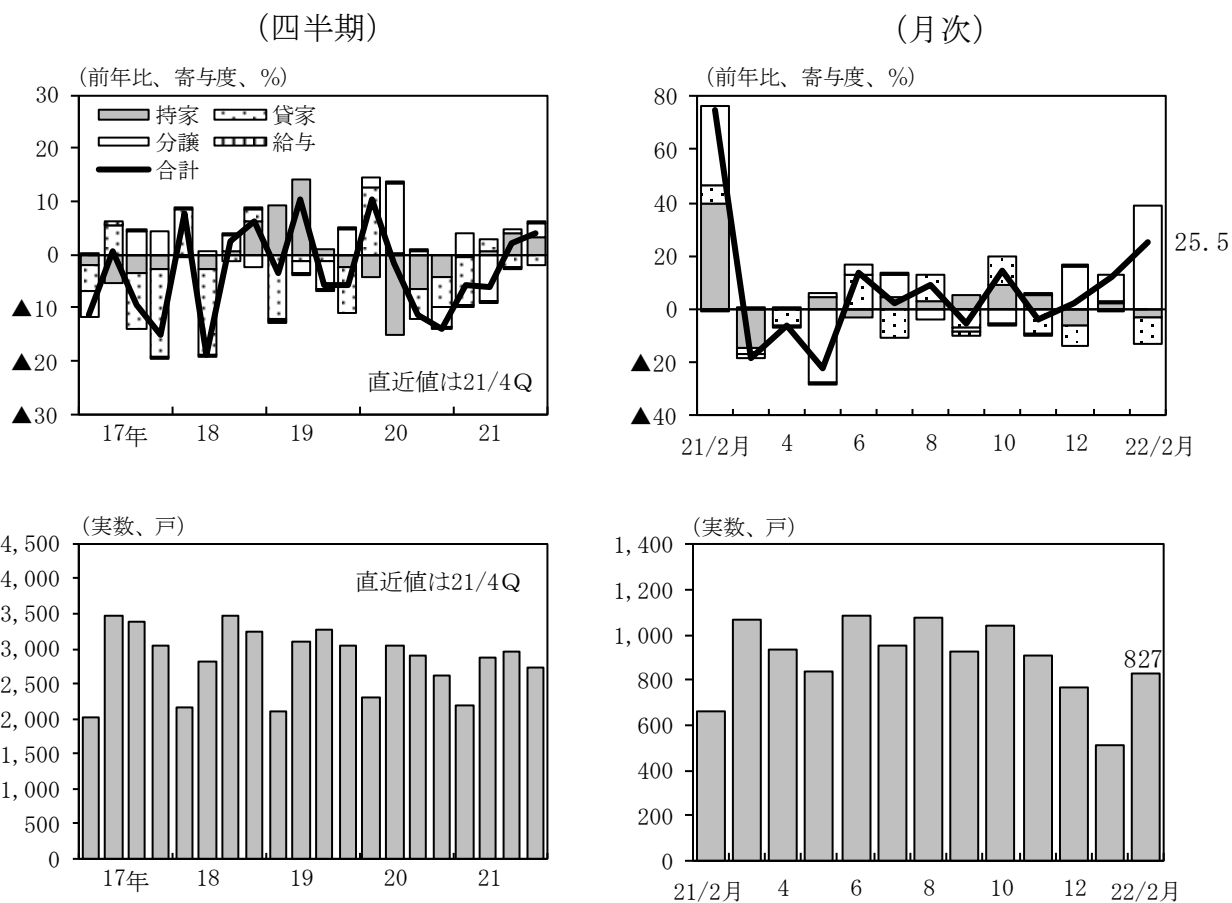


出所：Google LLC (直近値は3月27日)

住宅投資は下げ止まっている。

2022年2月の県内の新設住宅着工戸数は、分譲が増加したため、前年を上回った。

[新設住宅着工戸数] (前年比・実数)



出所：国土交通省

生産は、回復を続けているものの、一部で弱い動きが続いている。

食料品（米菓、練り製品）は、堅調に推移している。

電子部品・デバイスは、増加している。

一般機械（建設機械、工作機械、産業機械）は、回復している。

金属製品（作業工具）は、持ち直している。

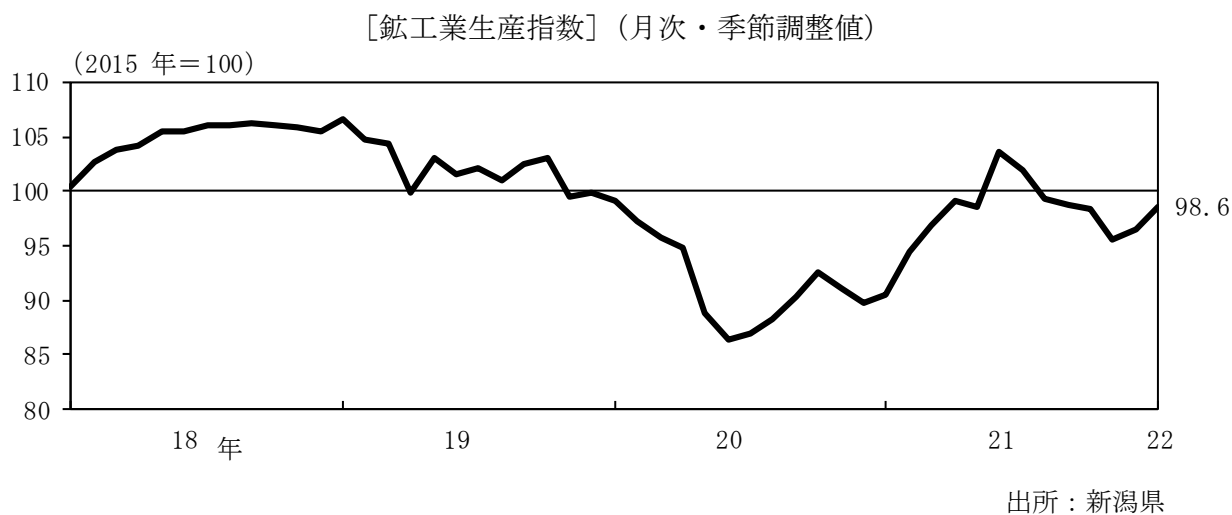
化学は、増加している。

輸送用機械（自動車関連部品）は、弱い動きとなっている。

鉄鋼は、持ち直しの動きがみられる。

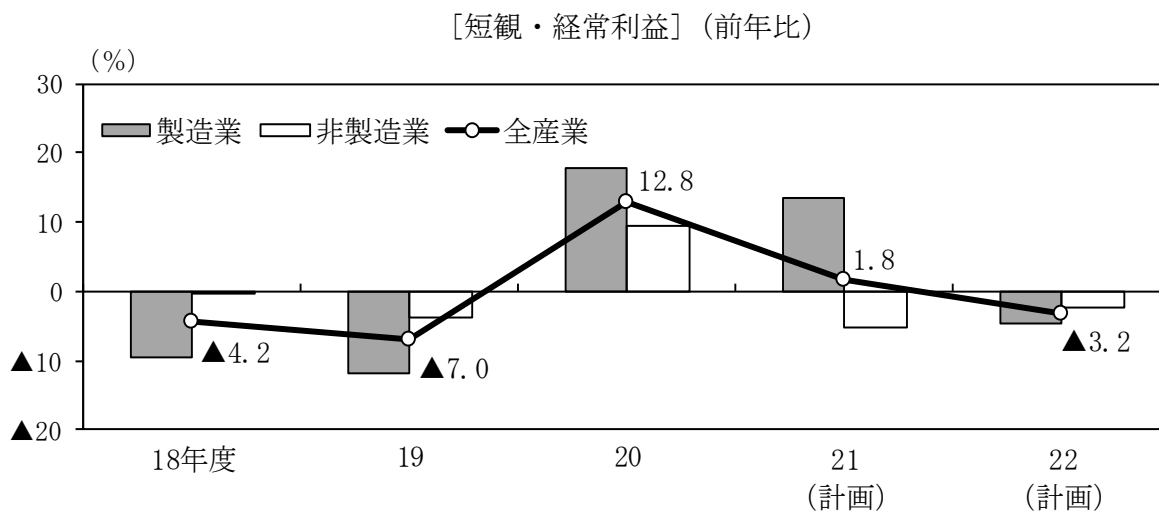
繊維は、低調な生産を続けている。

なお、2022年1月の県内の鉱工業生産指数は、前月比上昇した（季調済前月比+2.2%）。



企業収益は改善の動きがみられる。

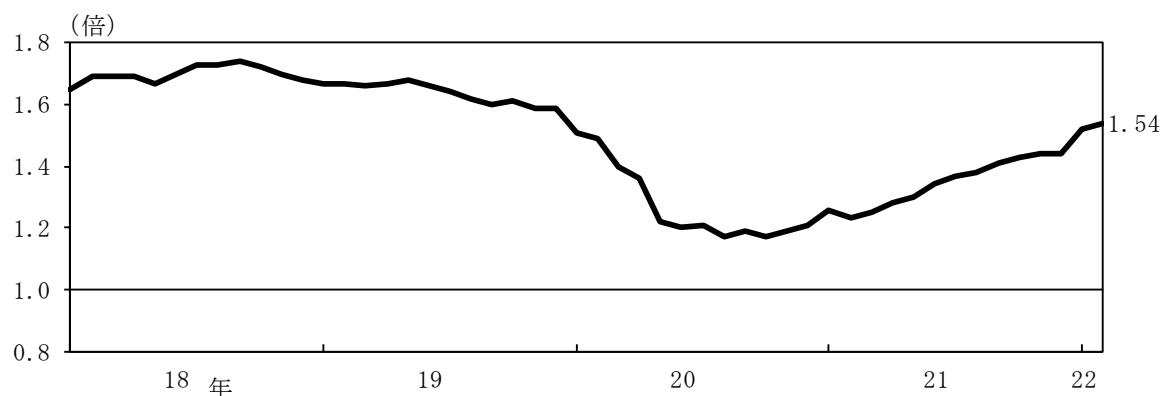
2022年3月短観では、2021年度の経常利益は増益見込みである。2022年度の経常利益は減益計画である。



雇用・所得環境は、労働需給に改善の動きがみられるものの、全体としては弱めの状態が続いている。

2022年2月の有効求人倍率（季節調整値）は、前月を上回った。求人数、求職者数ともに前月から減少した。

[有効求人倍率]（月次・季節調整値）



出所：新潟労働局

企業の業況感は悪化した。

2022年3月短観の業況判断D.I.は、「悪い」超幅が拡大した。

製造業は、部品調達難などの供給制約などから、「悪い」超幅が拡大した。非製造業は、公共工事関連受注の減少やコストアップによる利幅縮小などから、「悪い」超幅が拡大した。

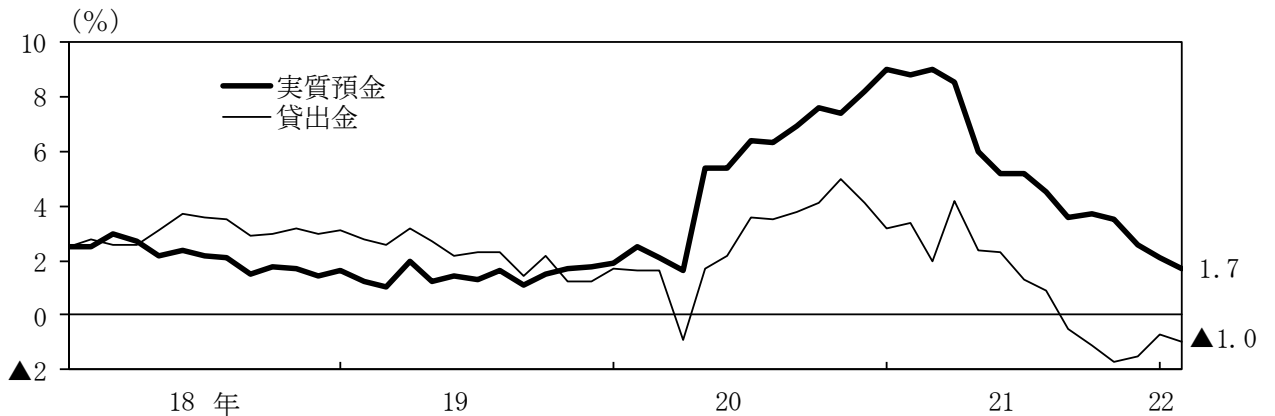
2. 金融

預金は増加している一方、貸出金は減少している。

2022年2月の県内金融機関の実質預金は、前年を上回った。一方、貸出金は、前年を下回った。

預金は伸び率が鈍化傾向にあるほか、貸出金は減少幅が拡大した。

[預金・貸出金残高] (月次・前年比)

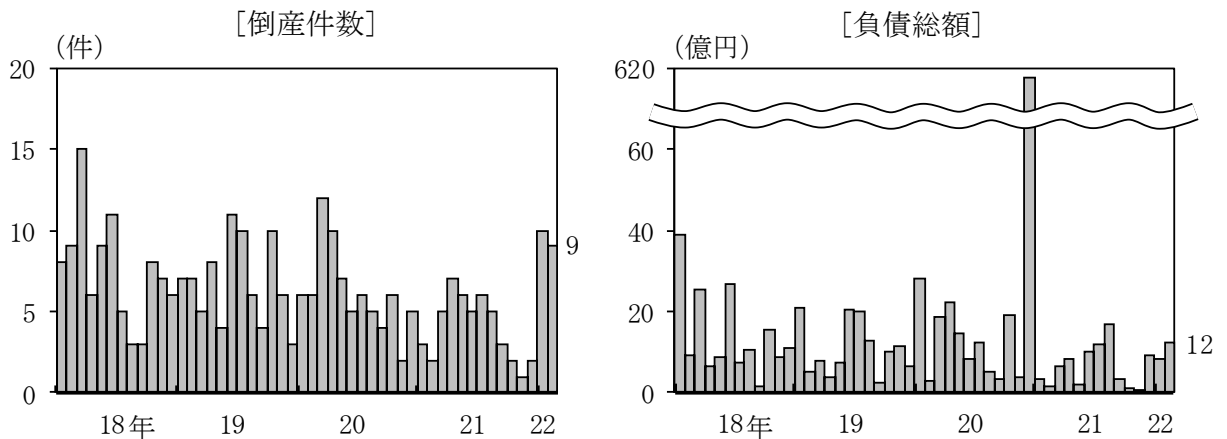


出所：日本銀行新潟支店

企業倒産は、件数、負債総額ともに前年を上回った。

2022年2月の県内企業倒産は、件数、負債総額ともに前年を上回った。

[倒産] (月次・実数)



出所：(株)東京商工リサーチ新潟支店

以 上